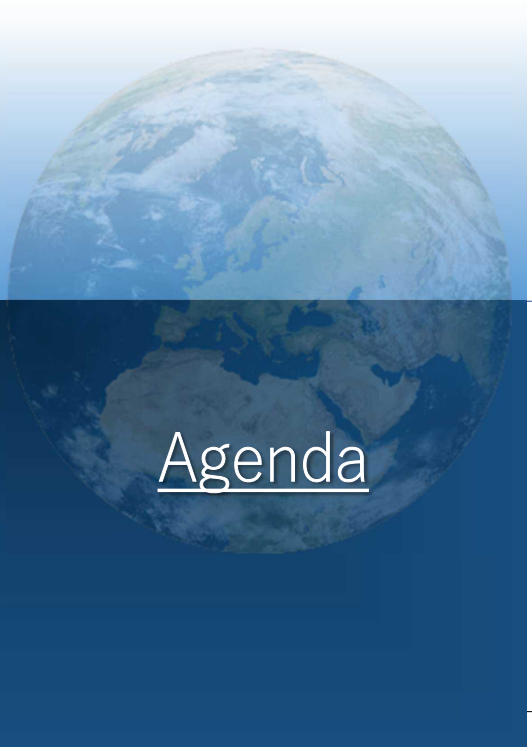
＜先進事例紹介⑥＞

「自治体・事業者・生活者の連携による
互助共助型コミュニティー資源回収」

アミタホールディングス株式会社

未来デザイングループ　高瀬　晴太　氏

令和7年度 北海道地方 資源循環自治体フォーラム



自治体・事業者・生活者の連携による互助共助型コミュニティ資源回収

Agenda

- 会社紹介
- 資源回収の方法における分散型回収の意義
- MEGURU STATION®
- MEGURU COMPLEX
- 内閣府 第3期戦略的イノベーション創造プログラム
- まとめ

2025年12月25日

アミタホールディングス株式会社

© AMITA HOLDINGS CO., LTD.

廃棄物の100%再資源化

この世に無駄なものはない
「安定供給のための情報生産」

Circular LinX

環境管理業務のクラウドサービス

ICTの活用で環境コスト・リスクを同時低減
「環境ニーズの個別対応」

不確実を確実に

環境認証審査サービス

森林資源・水産資源の価値を確実にする
「科学的な生態系の可視化」

持続可能な地域づくり

地域の未利用資源の利活用
「社会的行動動機の安定化」

AMITA

© AMITA CORPORATION.

資源回収の方法における分散型回収の意義

	一括回収	拠点回収	コミュニティ回収	訪問回収
社会システム				
分別	**<PET><プラ容器/製品>の全国で統一された区分**	**用途ごとに全国で統一された区分**	**素材、用途ごとに細かく区分**	**素材、用途ごとに細かく区分**
生活者の未来の行動	・一括回収の分別区分が全国統一と分かり易くなり、分別が当たり前に **・細かく分別しないが、再素材化を最低限意識する。**	**・何かをするついでに資源を持ち込むことが習慣になっている** ・環境貢献が見える化される媒体を日常的に利用している (e.g.貢献ポイント、貢献指数)	・資源回収だけでなく、リユース製品(洋服や耐久性品など)の入手や企業が構えるリユース、リユースのブースがあり、**近所の交流も楽しむ**	・自宅に定期的に回収してくれるため外に出しに行かず便利 ・見守りサービスの一環として訪問スタッフが回収するなど、安心感や楽しみのために利用する
生活者の未来のマインド (Well-Being)	・汚れたままや、プラ以外のゴミに混ぜて出すのは周りの目が気になるので、**ルールは守ろう**	**・資源をついでに持ってくることが格好良く**、社会的なステイタス **・環境貢献が実感できて嬉しい** ・持ち込む時に**汚れていると恥ずかしい**	・コミュニティの関係性の中で、**分けることが気持ち良くワクワクする** ・顔が見える関係なので**資源や製品への配慮を欠かさない**	・人と合う機会となり、**単純に嬉しいし、ドキドキする** **・気持ちよく受け取って欲しい**

引用：https://cloma.net/wp-content/uploads/2023/07/%E5%A0%B1%E5%91%8A%E4%BA%8B%E9%A0%85.pdf

人口動態を踏まえた循環インフラと、ライフスタイル変容を促す社会インフラの整備・構築が必要

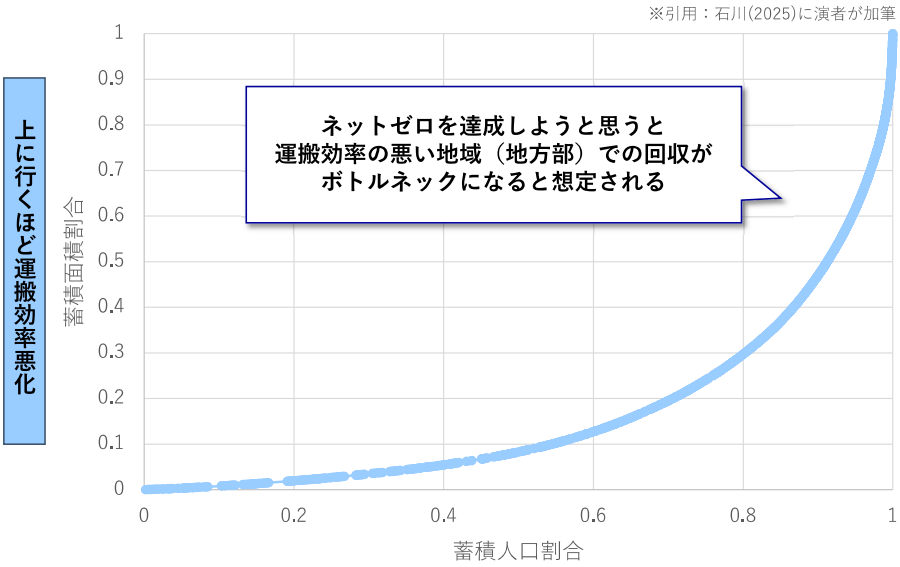
© AMITA CORPORATION.

資源回収の方法における分散型回収の意義

人口密度が高い順に自治体を並べた際の、人口の累計と面積の累計をグラフ化

人口密度降順蓄積人口割合に対する蓄積面積割合

※引用：石川(2025)に演者が加筆



資源の回収量の蓄積と近似

- 2050年ネットゼロ社会の実現
  ＝資源循環は例外なく全国で要対応
  ＝大都市だけの問題ではない
- 全国を網羅するためには、相対的に人口密度が低い多くの自治体の対応が不可欠
  ＝運搬効率の問題解決が必須
- 全国的な人口減少は避けられず、運搬の担い手は更に不足すると予測される
  ＝機能不全に陥るリスク

拠点回収での一次集約と
一定エリア内での二次集約が、
経済合理性の面でも非常に重要

分散型の資源回収拠点の利点

© AMITA CORPORATION.

MEGURU STATION®

地域・企業・社会の課題を統合解決する互助共助コミュニティ型の資源回収ステーション

企業の課題
- サーキュラーエコノミーの実践
- 循環型の事業開発
- 再生資源の調達
- プラスチック問題

地域の4大課題
- 人口減少
- 雇用縮小
- 少子高齢化
- 社会保障費の増大

地球環境問題
- 資源枯渇
- エネルギー問題
- 気候変動

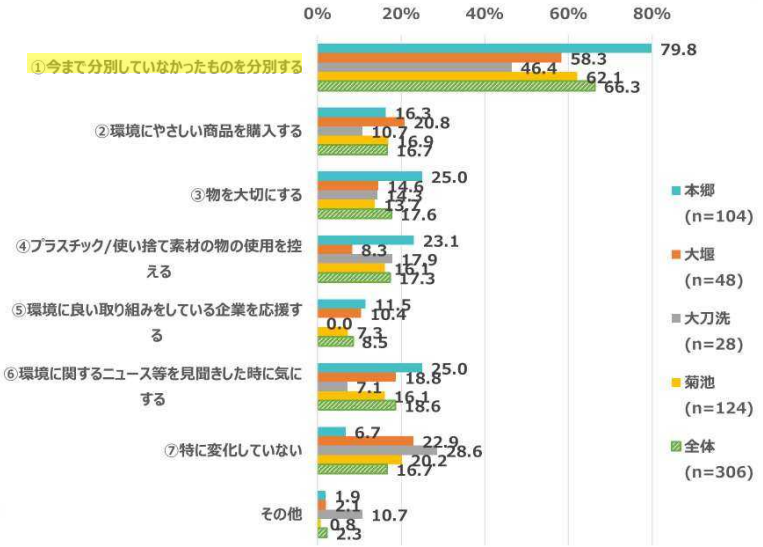
© AMITA CORPORATION.

MEGURU STATION®の効果 「環境意識の向上」

(22) MEGURUの取り組みをきっかけに、変化した日常生活の行動はありますか？ ※複数選択可

「⑦特に変化していない」を除くと、全体の84.3%がMEGURUをきっかけに何らかのポジティブな変化がある。
校区別に見ると、本郷は他の校区と比較して、ほとんどの選択肢において割合が高い。

	本郷	大堰	大刀洗	菊池	校区不明	総計
①今まで分別していなかったものを分別する	83	28	13	77	2	**203**
②環境にやさしい商品を購入する	17	10	3	21	0	**51**
③物を大切にする	26	7	4	17	0	**54**
④プラスチック/使い捨て素材の物の使用を控える	24	4	5	20	0	**53**
⑤環境に良い取り組みをしている企業を応援する	12	5	0	9	0	**26**
⑥環境に関するニュース等を見聞きした時に気にする	26	9	2	20	0	**57**
⑦特に変化していない	7	11	8	25	0	**51**
その他	2	1	3	1	0	**7**
総計	**197**	**75**	**38**	**190**	**2**	**502**

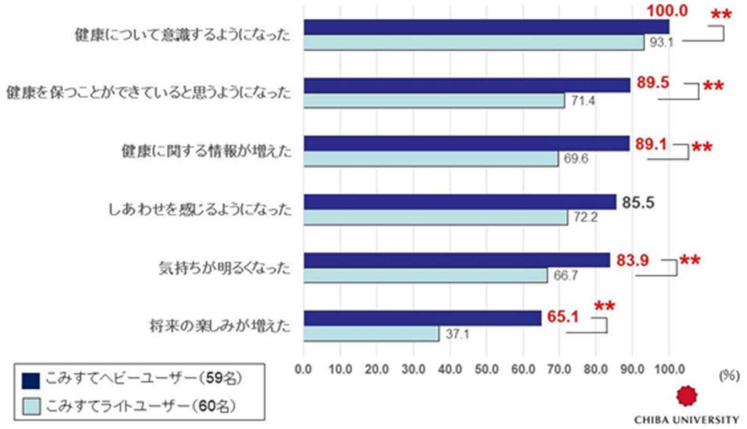


© AMITA CORPORATION.

MEGURU STATION®の効果 「社会保障・福祉費の削減」

アミタホールディングス株式会社が実施した千葉大学予防医学センターとの共同研究で、
互助コミュニティ型資源回収ステーション「MEGURU STATION®」の利用者は非利用者に比べ、
健康への意識や幸福感が1～3割増加し、要介護リスク得点が低く、介護費用の低減につながると推定。

利用頻度が高い人は、
健康や幸福感への意識が有意に増加



非利用者と比べ、利用者において
設置1年後の要介護リスク得点が有意に低い

※こみすては生駒市におけるMEGURU STATION®の呼称です
※アミタプレスリリース：https://www.amita-hd.co.jp/news/220610_meguru.html
※日本老年学的評価研究（JAGES）プレス発表：https://www.jages.net/?action=common_download_main&upload_id=13836

© AMITA CORPORATION.

MEGURU STATION®の効果の可視化_インパクトレポートの発行

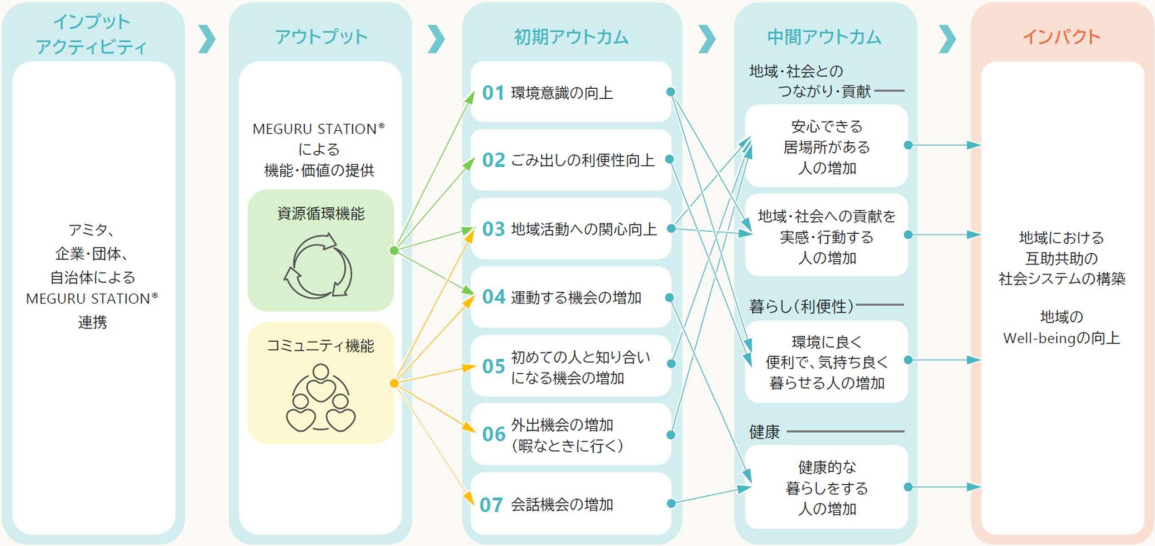
© AMITA CORPORATION.

MEGURU STATION®の効果の可視化_インパクトレポートの発行

Impact Story

ロジックモデル（生活者視点の一部を抜粋）

これまでに、MEGURU STATION®が生むインパクトのロジックモデルを、生活者視点、自治体視点、企業視点で整理してきました。
ここでは、生活者視点のロジックモデルのうち、本レポートにおいて定量化したアウトカムを含むものを抜粋しています。



© AMITA CORPORATION.

MEGURU STATION®の効果の可視化_インパクトレポートの発行

Impact Measurement

神戸市 エコノバふたばにおけるインパクト測定の結果

アンケートやデータ測定により、ロジックモデルの初期アウトカム（※p9参照）を可視化しました。

オペレーション指標

年間延べ利用者数
（2024年4月～2025年3月）

9,434 人

環境指標

資源回収量
（2024年4月～2025年3月）

プラスチック、紙、ビンの合計 **8.5** t

社会的指標

（2024年6月～7月調査実施）

※01～07はロジックモデルの初期アウトカム（※p9参照）と連動しています

地域・社会とのつながり・貢献

- 03 地域活動への関心が向上した人の割合 **65.3** %
- 05 初めての人と知り合いになる機会が増えた人の割合 **45.3** %
- 06 暇なときに行く場所ができた人の割合（※5分以上滞在した割合） **58.7** %

暮らし（利便性）

- 01 環境意識が向上した人の割合 **88.0** %
- 02 ごみ出しの利便性が向上した人の割合 **66.7** %

健康

- 04 MEGURU STATION®利用による運動機会（※徒歩利用者の月間合計歩数を試算） **736,760** 歩／月
- 07 MEGURU STATION®訪問により会話した人の割合 **70.2** %

© AMITA CORPORATION.

MEGURU COMPLEX

焼却炉に代替する新たな自治体のゴミ処理モデルを開発中

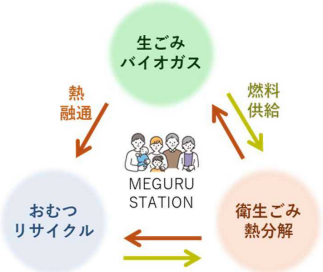
- 焼却炉の更新という既存型の手法は、**解決できない弊害**と**行政依存**を生みます
- 「MEGURU COMPLEX」では、地域に様々な循環を生み出し、**市民主体のまちづくりが実現します**

既存モデル

焼却炉

未解決の弊害
- 助燃剤必要（化石燃料）
- 最終処分場のひっ迫
- 人口減少による焼却ごみ確保が困難に

MEGURU COMPLEX



新しい価値
- コミュニティ醸成
- 地域への誇り・愛着
- 市民の皆さんが主体となったまちづくり
- 新たな関係性と雇用の創出

焼却依存 ➡ 灰 ➡ 埋立

分別不要（行政への依存）

複合資源化 ➡ 肥料、資源、人の想い ➡ **循環**

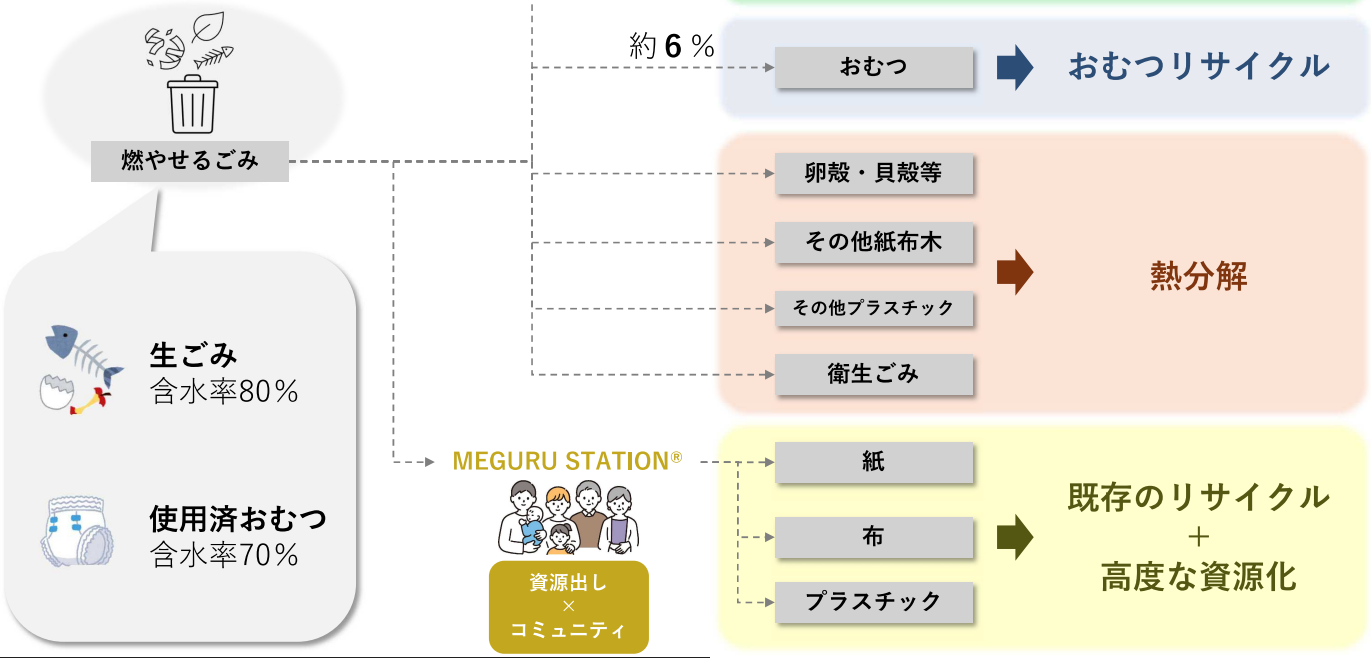
分別必要（市民との協働）

© AMITA CORPORATION.

MEGURU COMPLEX

地域内の資源の流れ

（イメージ）



焼却と埋立に依存しない地域循環モデル

© AMITA CORPORATION.

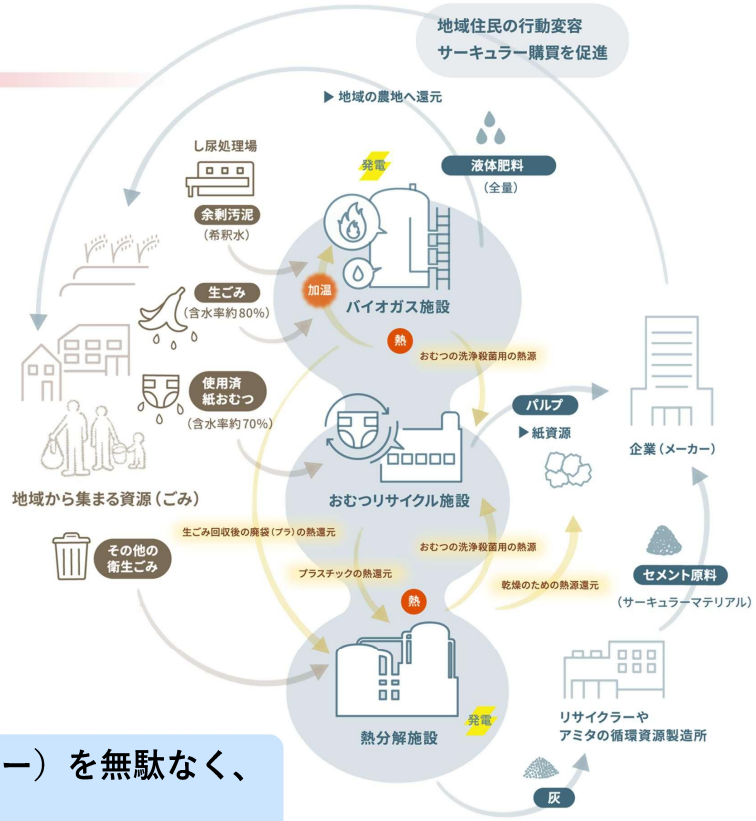
MEGURU COMPLEX

施設間の連携イメージ

バイオガス施設
生ごみをメタン発酵することにより、エネルギー（電気・熱）と液肥が得られ、ガスは施設運用やおむつリサイクル施設へ融通、液肥は全量農地へ還元

熱分解施設
水分量の多いごみを除くことで、化石燃料に頼らずに、エネルギー消費が少ない方法で、その他ゴミを熱分解(ガス化)可能

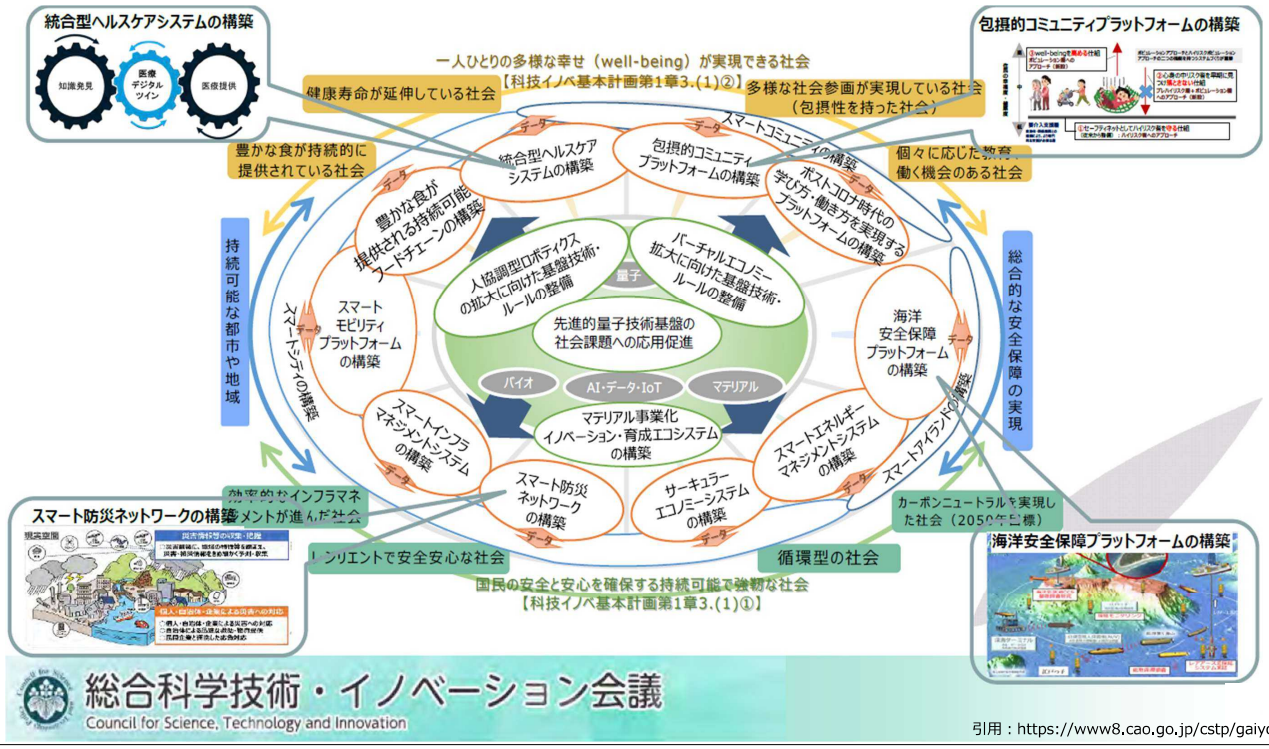
おむつリサイクル施設
使用済みおむつは、洗浄・分離され、プラスチック類とパルプ分離させ、資源化可能



各処理工程におけるアウトプット（もの・エネルギー）を無駄なく、全体で補い合える構造で、最適な資源循環が可能

© AMITA CORPORATION.

内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第３期」

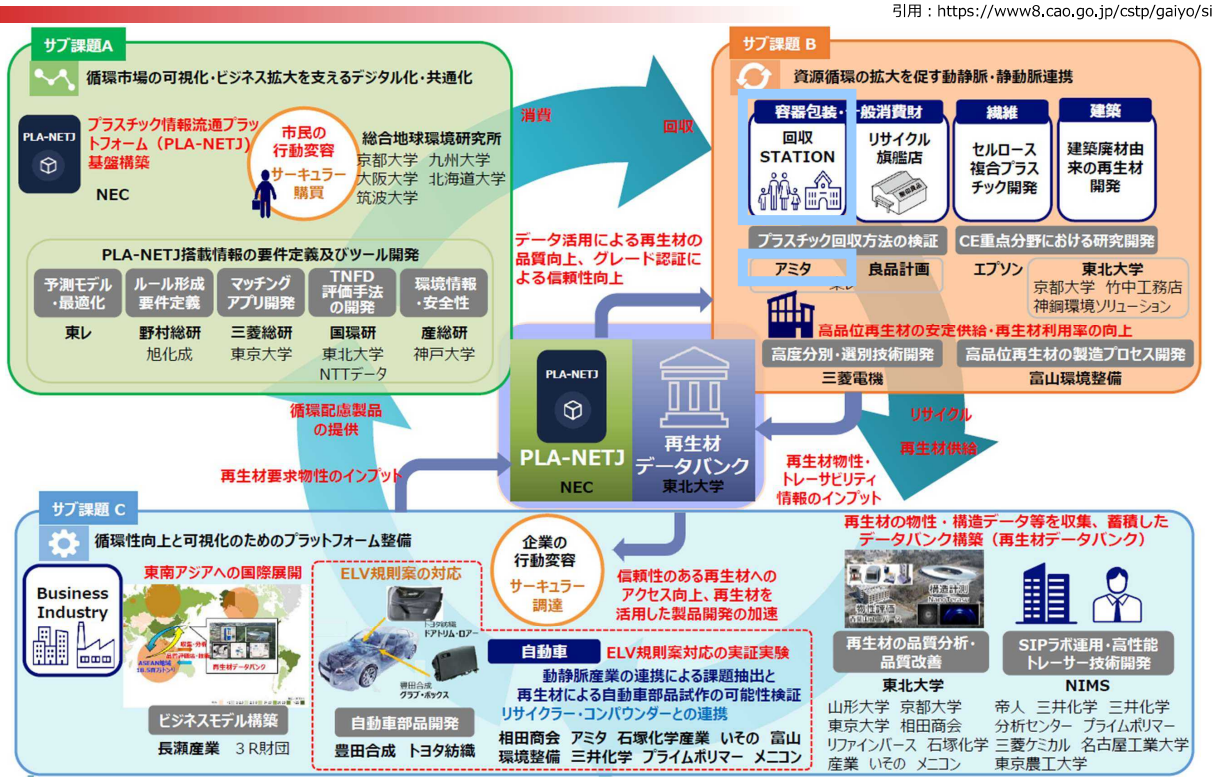


引用：https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/sipgaiyou.pdf

© AMITA CORPORATION.

サーキュラーエコノミーシステムの構築　実施体制

引用：https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/241031/siryo1.pdf c



© AMITA CORPORATION.

神戸市の資源回収ステーション（エコノバ）における回収実証

■ ふたば資源回収ステーション、あづま資源回収ステーション、たかくらだい資源回収ステーションにて、モノマテリアルPPの5品目（プラキャップ全般、豆腐の容器、ゼリーの容器、冷凍食品のトレー、タッパー）、62拠点でペットボトルのキャップを回収中

© AMITA CORPORATION.

まとめ：分散型の循環がもたらす多角的な効果

●分散型循環に期待される多角的な効果は、自ら課題を解決し続け、
地域循環共生圏を支える「自立した地域」の創出にも繋がる

効果の側面	具体的なインパクトの例
環境的効果	• 温室効果ガスの大幅削減 • 最終処分量の削減 • 焼却炉の延命化・小型化 • 地域農地での有機肥料生産
経済的効果	• 収集・焼却処理コストの削減 • 地域内での新たな雇用・産業創出 • 地域内経済効果の最大化
社会的効果	• 住民のウェルビーイング向上 • 持続可能なライフスタイルの浸透 • 災害時レジリエンスの強化

https://chiikijunkan.env.go.jp/

まちのごみ処理＝焼却炉という高度成長期の常識から脱し、
地域特性に応じた最適な循環モデルの設計と、その社会実装を促す制度設計が必要

© AMITA CORPORATION.

引用文献

● スライド４

➢ 月刊廃棄物2025年5月号　p38-p39 ごみ問題から読み解く”循環政策”のゆくえ　第72回燃やすための収集から炭素循環のための収集へ　石川雅紀

© AMITA CORPORATION.

End of document